

令和6年度

第一学年 年間授業計画



東京都立本所工科高等学校

TOKYO METROPOLITAN HONJO TECHNICAL HIGH SCHOOL PART-TIME SCHOOLING SYSTEM COURSE

目次

○現代の国語.....	02
○言語文化.....	04
○数学Ⅰ.....	07
○英語コミュニケーションⅠ.....	09
○公共.....	12
○体育.....	15
○保健.....	16
○美術Ⅰ.....	17
○書道Ⅰ.....	18
○工業技術基礎.....	20
○工業情報数理.....	24
○人間と社会.....	25

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍『新編現代の国語』 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く 共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語 文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「現代の国語」を学ぶにあたって 【知識及び技能】「現代の国語」を学ぶ目的をよく理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】「現代の国語」で、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その内容を適切に相手に伝える表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】「現代の国語」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。	1「現代の国語」の目標を学び、授業の取り組み方や、持ち物、評価の観点等について理解する。 2自己紹介とこの授業での目標を発表させる。	○			【知】 「現代の国語」を学ぶ目的をよく理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。 【思】 「現代の国語」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その内容を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【態】 「現代の国語」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。	○	○	○	1
	B「こそそめスープ」 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ 話し合おうとする	1筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。（手引き2） 3「こそそめスープのある世界」は、筆者にとってどのようなものであるかを理解する。（手引き3・4） 4筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について理解する。（手引き5） 5第三段から、筆者の人間に対する考え方を読み取る。（手引き6） 6筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出し、「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。また、「本物のこそそめスープ」とはどのようなものかを話し合う。（言語活動1・2）	○	○	○	【知】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【態】 ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	○	○	○	8
	C「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○		○	3
	定期考査						○	○		1

2 学 期	D「未来をつくる想像力」 「…メディアとの付き合い方」 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合うことができる。	1 本文を通読して、内容を把握する。（手引き1） 2 「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。（手引き2） 3 「イメージの共有」がなぜ個人の単独性を失わせるのかを理解する。（手引き3） 4 筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。（手引き4） 5 「空白の時間」をつくることの意義について理解する。（手引き5） 6 本文の内容を踏まえて、実際の生活やメディアの特長について考え、話し合う。（言語活動）（考えよう……メディアとの付き合い方）	1			【知】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【態】 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。	1		11		
	E「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○	○	3		
	定期考査						○	○	1		
3 学 期	F「美しさの発見」 【知】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【主】 ・粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合うことができる。	1 取り上げられている具体例に注意しながら、本文を通読する。（手引き1） 2 第一段から「発明」と「発見」に関わる語句や表現を抜き出し、ここでのそれぞれの意味を明らかにする。 3 コロンブスやキュリー夫人の「発見」と芭蕉やセザンヌの「発見」の違いを考え、それぞれの意味を明らかにする。（手引き2） 4 少年龍之介を叱った先生が捉えている「美しさ」と少年龍之介が捉えている「美しさ」を読み取る。（手引き3・4） 5 「同じ一つの心のはたらき」について考え、「『美しさ』を知る」ために必要なことを話し合う。（言語活動） 6 この文章で筆者は、「美しさの発見」とはどのようなものであると述べているか、考えを述べ合う。（手引き5）		○	○	○	【知】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主】 ・粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。	○	○	○	8
	G「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○	○	2		
	定期考査						○	○	1 合計 39		

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍『新編言語文化』）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く 共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識 を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語 文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「言語文化」を学ぶにあたって 【知識及び技能】「言語文化」を学ぶ目的をよく理解し、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】「言語文化」で、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】「言語文化」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。	1「言語文化」の目標を学び、授業の取り組み方や、持ち物、評価の観点等について理解する。 2 どのような言語文化に触れてきたか、またこの授業でどのような内容について学びたいかを発表させる。	○			【知】「言語文化」を学ぶ目的をよく理解し、社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 【思】「言語文化」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【態】「言語文化」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。	○	○	○	1
	B「古文に親しむ」 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとする。	1 古文と現代文の違いについて確認する。 2 古文の代表作品の冒頭を音読する。 3 現代とは仮名遣いが違うことを知る。 4 暗唱し、古文のリズムや調子を体感する。（手引き1・2）	○	○	○	【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【態】 ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	7
	C「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができている。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○		○	2
	定期考査							○	○	

2 学 期	d「羅生門」 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとする態度を養う。	1 全文を通読し、時代背景を確かめる。（手引き1） 2 場面の変化に注意して、本文全体を四つの意味段落に分ける。 3 第一段を読み、「下人」の内面の状態をまとめる。（手引き3-1） 4 「作者」の説明に従って、「下人」の行動を順を追って整理する。 5 「下人」の内面の変化を順を追って整理する。（手引き2） 6 第二段を読み、「下人」の目が捉えた「羅生門」の楼上の情景を整理する。 7 「下人」と「老婆」について、比喻で表現した箇所を抜き出し、比喻の効果について考え、まとめる。 8 第三段、第四段を読み、「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。 9 「なるほどな、……大目に見てくれるである。」に述べられた「老婆」の主張について考え、それを聞いた「下人」が「引剥ぎ」をしようと思った理由を考える。（手引き4・言語活動1） 10 「下人」の内面の変化を、変化のきっかけと関連づけながら、整理する。（手引き2・3-2・4） 11 「黒洞々たる夜」という表現に留意して、「老婆」のその後について考える。 12 「下人の行方は、誰も知らない。」という終わりを踏まえて、「下人」がこの後、どうなったのかを想像し、話し合う。（手引き5） 13 小説の主題について、自分なりに考えて文章にまとめた後、発表する。				【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【態】 ・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	10
	E「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができている。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○		○	4
	C「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができている。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○		○	3
	定期考査						○	○		1

3 学 期	○「さくらさくらさくら」 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理することができる。	1 桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 2 本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。（手引き1） 3 第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つかを考察する。（手引き2・3） 4 具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。（手引き4） 5 第三段を音読し、短歌三首の内容と詠まれた心情について考える。（手引き5） 6 短歌の内容と心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理する。（手引き5）	○	○	○	【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【態】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	7
	C「漢字の読み書き」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。	1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。		○		【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。	○		○	2
	定期考査						○	○		1
										合計
										39

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数Ⅰ708 「高校数学Ⅰ」 実教出版 ）

教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法について理解を深める 中学までの復習(Warm-up)	Warm-up(p 4～7) 数の計算法則 1. 加法と減法 2. 乗法と除法 3. 分数計算と除法	【知識・技能】 ・数の四則計算に習熟できる 【思考・判断・表現】 ・数の四則演算より整式の加法・減法を考察できるように準備する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の四則計算を習熟し、その計算を間違いなく行うようになる。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	6
	式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法について理解を深める 中学までの復習(Warm-up)続き 第1章 数と式 1. 文字式	Warm-up(p 4～7) 数の計算法則 4. 素因数分解 5. $\sqrt{\quad}$ を含む計算 6. 文字式の計算 数と式 1 節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり	【知識・技能】 ・素因数分解ができる。 ・素因数分解を利用して分数計算や数の除法ができる 【思考・判断・表現】 ・素因数分解を利用したり、特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・素因数分解が利用できることに興味を持ち、計算に利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 整式の加法・減法について理解を深める。 公式などを利用して式の展開や因数分解を効率よく計算できるようにする。 2. 整式 整式の基本と整理 整式の加法・減法	1 章 数と式 1 節 整式 2. 整式 3. 整式の加法・減法	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の計算に加法・減法が利用できることに興味を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	8
	第1章 数と式 整式の乗法について理解を深める。公式などを利用して式の展開や因数分解を効率よく計算できるようにする。 2. 整式 整式の乗法	1 章 数と式 1 節 整式 4. 整式の乗法	【知識・技能】 ・乗法公式の理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・乗法公式の理解を深めることができ、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	式の見方を豊かにし、公式などを利用して式の展開や因数分解を効率よく計算できるようにする。 1. 整式 乗法公式による展開	1 章 数と式 1 節 整式 5. 乗法公式による展開	【知識・技能】 ・乗法公式の理解を深めることができる。 ・式の展開を、公式を利用して処理することができる。 (発問評価・課題提出) 【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開に関心を持ち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乗法公式が利用できることに興味を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

期	式の見方を豊かにし、公式などを利用して式の展開や因数分解を効率よく計算できるようにする。 1. 整式 因数分解	1 章 数と式 1 節 整式 6. 因数分解	【知識・技能】 ・因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・因数分解を、公式を利用して処理することができる。 （発問評価・課題提出） 【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に因数分解の公式が利用できることに関心を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 2. 実数 平方根とその計算	2 節 実数 1. 平方根とその計算	【知識・理解】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	6
	定期考査(最下段に挿入できないのでここに配置した)			○	○		1
	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 2. 実数 実数	2 節 実数 2. 実数	【知識・理解】 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	6
							合計
							78

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（ ALL Aboard English CommunicationⅠ 東京書籍 ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】聞く、話す、読む、書くことによる適切なコミュニケーションの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】外国語で話し手や書き手の意図を的確に理解したり、表現したり、伝え合っている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図る

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕 書					
1 学 期	身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習し、実際に使ってみる	○Warm-Up 1アルファベット ・身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。 ・英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 ○Warm-Up 2教室で使う表現 ・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 〔言語活動〕 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる	○	○	○	○	〔知識〕アルファベットについて、その決まり事などを理解している。 〔技能〕アルファベットを正しく認識し、書くことができる技能を身につけている。 〔知識〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解している。 〔技能〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。 〔思〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。 〔態〕教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。 〔知識〕辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを理解している。 〔技能〕辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。	○	○	○	6
	・辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。辞書を使って単語を調べられるようにする。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。be動詞、一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko ○Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! 一般動詞の用法について学習し、Be動詞との違いにしっかり理解させる。	○	○	○		〔知識〕be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。 〔思〕自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。 〔態〕自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。	○	○	○	9

	・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。	○Lesson 1 Breakfast around the World 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料] 過去形の用法を理解する。 [言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べることができる。	○	○	○	○	○	[知識] 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 [技能] 世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につけている。 [思] 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。 [態] 世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	13
2学期	・進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。	○Lesson 2 Australia's Cute Quokkas オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 [言語材料] 進行形：〈be動詞＋動詞の-ing形〉 [言語活動] 好きな動物について、英語で述べることができる。	○	○	○	○	○	[知識] 進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 [技能] 進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。 [思] オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 [態] オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	15
	・助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解する。また、列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができるところ・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につける。	○Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 [言語材料] 助動詞：can, will [言語活動] ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるができる。	○	○	○	○	○	[知識] 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができるところ・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。 [思] 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができるところ・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。 [態] 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができるところ・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	18

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書： 高等学校 新公共（第一学習社）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】
- 現代の諸問題を理解するための手掛かりとなる概念や理論について習得するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に獲得できるようになる。特に、現代の社会で生きる基礎となる憲法の成立や意義、その問題などについて理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 現代社会の諸問題の理解のために、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的な概念を駆使して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら自身の考えを表現し、他者と意見交換ができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- よりよい社会の実現を視野に、民主的な国家・社会の担い手となるべく、現代の諸問題を主体的に学ぼうとしている。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
公共的な空間で生きていくための人間としての生き方や原理について過去の哲学者の思想を理解する。そのために基本となる日本国憲法の原理や経済活動の基本的な知識を身につける。また、現代の諸課題について理解する。	公共的な空間で生きていくための人間としての生き方、原理について、過去の哲学者の思想を踏まえつつ、自らの考えを表現できる。また、現代の諸課題について、具体的な問題の背景や構造を説明できる。	公共的な空間で生きていくための人間としての生き方、原理を獲得するために、主体的に学ぼうとしている。また、現代の諸課題が何かについて積極的に調べようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	第一編 公共の扉 1. 公共的な空間をつくる私たち 2. 人間としてのあり方 【知識及び技能】 ・青年期における心の在り方やフロイトの防衛機制、葛藤の種類、発達課題におけるアイデンティティの意味を理解させる。 ・伝統文化の意義や日本古来の信仰・祭祀にどのようなものがあるか理解させる。 ・正義に関する判断基準となる行為の道徳主義と帰結主義が何かについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期とは人生においてどのような時期であるかについて自分なりの考えを表現できる。 ・古来からの日本の信仰・祭祀について説明できる。 ・トロッコ問題などについて、どのように判断するか、自らの考えを述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の事柄について自ら積極的に考え、調べようと努力できる。	・指導事項 青年期の課題 伝統文化との関わり 正義論 ・教材 教科書とワーク	【知識・技能】 ・定期試験 ・授業での発言 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・授業での発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの提出 ・授業での取り組み状況（ワーク提出）	○	○	○	13
	定期考查			○	○		1

1 学期	第一編 公共の扉 3. 公共的な空間における基本原理 第二編 社会に参画する私たち 1. 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・社会契約説について、これがどのような思想なのかを理解させる。 ・民主主義と国民主権の関係、また、直接民主制と間接民主制の違いを理解させる。 ・日本国憲法の成立過程やその特徴を理解させる。 ・日本国憲法に規定される基本的人権の意義を理解させる。 ・日本国憲法の自由権の具体的内容について理解させる。 ・消費者としての契約の意義や注意すべきことについて理解させる。 ・日本の裁判制度や司法参加の意義について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ホッブス・ロック・ルソーの社会契約論の違いを説明することができる。 ・民主主義に関わる法の支配や立憲主義の理念について説明できる。 ・日本国憲法を明治憲法と比較しつつ、その成立過程や特徴を説明できる。 ・日本国憲法の基本的人権の規定に関して三菱樹脂訴訟の意義を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の事柄について自ら積極的に考え、調べようと努力できる。	・指導事項 - 社会契約説 - 直接民主政と間接民主政 - 日本国憲法の成立 - 日本国憲法の自由権 - 消費者契約と問題 - 司法参加と裁判制度 - 教材 - 教科書とワーク	【知識・技能】 ・定期試験 ・授業での発言 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・授業での発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの提出 ・授業での取り組み状況（ワーク提出）	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学期	第二編 社会に参画する私たち 2. 政治的主体となる私たち 【知識及び技能】 ・現代日本の選挙制度と現状の課題について理解させる。 ・政党の意味と役割について理解させる。 ・国会と内閣の意味と役割の違いについて理解させる。 ・近代国家の意味や近代の国際法について理解させる。 ・国境はどのように決定されているかについて理解させる。 ・国際連合の成立と役割について理解させる。 ・平和主義と日本の安全保障政策について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小選挙区制と比例代表制とメリットとデメリットについて説明することができる。 ・政治資金規正法の意義について説明することができる。 ・国会の現状の問題点や議院内閣制について説明できる。 ・国家の3要素や排他的経済水域の意義について説明できる。 ・日本の現在の領土問題について何が問題とされているかについて説明できる。 ・国際連合の問題点と限界について説明できる。 ・日本国憲法9条と安全保障との関係について説明できる。	・指導事項 - 選挙制度 - 政党政治 - 国会と内閣 - 国境と領土問題 - 国際連合 - 平和主義と日本の安全保障 - 教材 - 教科書とワーク	【知識・技能】 ・定期試験 ・授業での発言 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・授業での発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの提出 ・授業での取り組み状況（ワーク提出）	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

	第二編 社会に参画する私たち 2. 政治的主体となる私たち 3. 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・冷戦期から現代のグローバル社会に至るまでの国際社会の変容過程を理解させる。 ・移民や難民とは何かについて理解させる。 ・労働者の権利について、労働三権や労働基準法の意義を理解させる。 ・戦後の日本経済の動向を理解させる。 ・企業の基本的な活動とその社会的役割について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・冷戦の構造を説明できる。 ・移民・難民と現代的諸課題との関係を説明できる。 ・現代日本の労働問題について、何が問題か説明できる。 ・戦後日本経済史を現代t日本の経済的な問題と関連付けて理解できている。 ・大企業と中小企業の違いやその現代的な課題について説明できる。	・指導事項 戦後の国際社会の歴史的変容 移民・難民問題 労働者の権利と課題 戦後日本経済史 企業の役割と責任 ・教材 教科書とワーク	【知識・技能】 ・定期試験 ・授業での発言 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・授業での発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの提出 ・授業での取り組み状況（ワーク提出）				14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第二編 社会に参画する私たち 3. 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 ・市場経済のしくみを理解させる。 ・市場価格の決定について理解させる。 ・国民所得と経済発展の関係を理解させる。 ・金融理論について理解させる。 ・日本の財政制度と税のしくみを理解させる。 ・国際収支と国際経済tの特徴を理解させる。 ・現代世界で起こっている諸問題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資本主義経済と社会主義経済の違いを理解させる。 ・需要曲線・供給曲線の意味や官益について説明できる。 ・ケインズの経済思想について理解させる。 ・中央銀行と金融政策の意義について説明できる。 ・税の役割について説明できる。 ・地球温暖化や資源エネルギー問題について説明できる。	・指導事項 市場経済のしくみ 市場価格の決定 国民所得と経済発展 金融理論 日本の財政制度と税 国際収支と国際経済 ・教材 教科書とワーク	【知識・技能】 ・定期試験 ・授業での発言 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・授業での発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートの提出 ・授業での取り組み状況（ワーク提出）	○	○	○	19
	定期考査			○	○		78

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：

使用教科書：（ 現代高等保健体育(大修館書店) ）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるよう
 - 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を継続できるようにする。また、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能を身につけられるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するために、自己の課題を発見し合理的、計画的な解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育む。また、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ体動を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり、書きだすことができるようにする。 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができるようにする。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見つけることができるようにする。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・バドミントン ・スポーツテスト ・バレーボール ・体育理論	【知識・技能】 ・心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて言ったり、書きだすことができるようにする。 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができるようにする。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見つけることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。	○	○	○	31
2 学 期	・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称がありそれらを身に付けるためのポイントがあることを理解できるようにする。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができるようにする。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。	・バスケットボール ・体育理論 ・サッカー ・体育理論	【知識・技能】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 【思考・判断・表現】 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	31
3 学 期	・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることを理解できるようにする。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができるようにする。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。	・陸上競技 ・体育理論	【知識・技能】 ・体力を高めるための運動や技術を理解しできることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。	○	○	○	16
							合計
							78

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるよう

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けられるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力あり生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・国民の健康課題について我が国の死亡率・受療率・平均寿命・健康寿命等、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり、心身の健康を損ねることを理解できるようにする。	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康	【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・現代社会と健康における事象や情報などについて、健康にかかわる原則や概念をもとに整理したり、個人及び、社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析しリスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組及び社会的な対策を整理することができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	・麻薬・覚せい剤・大麻等、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して申告な影響を及ぼすことから決しておこなってはならないことを理解できるようにする。 ・適切な意思決定や行動選択には個人の知識・価値観・心理状態・および人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できるようにする。	・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現在の感染症 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取り組みを個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明することができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	・適切な応急手当は傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。 ・日常生活で起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを実習等を通して理解し、応急手当ができるようにする。	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明することができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
							合計 39

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（「高校生美術Ⅰ」日文 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。
創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
- 【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し
発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価基準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映	鑑 賞					
1 学 期	○木彫表札 [知]フォントの造形的な理解と木彫表札へ応用させるために必要な技能を身につけさせる。 [思]フォントの造形的に美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]フォントが持つ社会的な関わりを理解して木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・レンダリングの学習を通して、フォントとして美しい造形を理解させる。 ・「木彫表札」の楽手を通して浅浮き彫りとカミュー塗の技術を習得させる。	○	○		○	[知]フォントの造形的な理解と木彫表札下応用するために必要な技能を身につけている。 [思]フォントの造形的な美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身につけている。 [態]フォントが持つ社会的な関わりを理解して木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
2 学 期	○木彫文箱 [知]自然の花の造形的理解と木彫文箱へ応用するために必要な技能を身につけさせる。 [思]自然の花から美しい丸文様の造形にデザインし、さらに木彫文箱に表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]さまざまなものの中にある衣装が心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して木彫文箱の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・自然の花のデザイン楽手を通して丸文様の美しい造形を理解させる。 ・「木彫文箱」の学習を通して深浮き彫りとワックス仕上げの技術を習得させる	○	○		○	[知]自然の花の造形的理解と木彫文箱へ応用するために必要な技能を身につけている。 [思]自然の花から美しい丸文様の造形にデザインし、さらに木彫文箱に表現する発想力や構想力を身につけている。 [態]様々なものの中にある意匠が心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して木彫文箱の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
3 学 期	○ペーパーナイフ [知]道具のデザインの造形的理解とペーパーナイフに応用するために必要な技能を身につけている。 [思]自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]様々なデザインされた道具は、心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	・道具のデザイン学習を通して、ペーパーナイフの美しい造形を理解させる。 ・「ペーパーナイフ」の学習を通して、透かし彫りとやすりがけ成形の技術を習得させる。	○	○		○	[知]道具のデザインの造形的理解とペーパーナイフに応用するために必要な技能を身につけさせる。 [思]自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]様々なデザインされた道具は心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	22
合計											78

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（「書道Ⅰ」東京書籍）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。
書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。
- 【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】書の伝統と文化に関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	○楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆 [知]（表現）楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 （鑑賞）・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 （技能）楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 [思] 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 [態] 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・漢字の書 ・楷書	○			○	[知]（表現）楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解していた。 （鑑賞）・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解していた。 （技能）楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。 [思] 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。 [態] 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。	○	○	○	26
2 学 期	○漢字の書体の変遷、書の伝統的な干渉方法や形態 [知]（鑑賞）日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 （技能）・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 ・草書・隸書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 [思]漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 （表現）・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・草書・隸書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 [態] 書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 （表現）・自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・自身の表現の意図に基づく表現、草書・隸書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・行書 ・草書 ・隸書 ・年賀状	○	○	○	○	[知]（鑑賞）日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解していた。 （技能）・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。 ・草書・隸書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。 [思]漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えていた。 （表現）・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。 ・草書・隸書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。 [態] 書のよさや美しさを甘受しながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしていた。 （表現）・自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。 ・自身の表現の意図に基づく表現、草書・隸書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。	○	○	○	28

3 学 期	○日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立 〔知〕（鑑賞）・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 （表現）・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 （技能）・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。 ・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔思〕（表現）・仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 （鑑賞）・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 〔態〕（表現）・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 （鑑賞）・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教 科： 工業 科 目： 工業技術基礎 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 総合技術科（機械類型）

教科担当者：

使用教科書：（ 工業技術基礎、学校配布の実習プリント ）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	機械の各分野に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	旋盤 【知】旋盤作業の基本操作についての正しい知識を持ち、旋削作業法を理解させる。 旋盤作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した旋削作業法を身につけさせる。 【思】旋盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、旋削作業についての確に表現できる技量を身につけさせる。 【態】旋盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、旋削作業に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	旋盤の基礎的作業（端面、外径等）操作 ・切削の原理 ・身近な製品との関連・観察 ・切削工具の選択 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践	【知】旋盤作業の基本操作についての正しい知識を持ち、旋削作業法をよく理解している。 旋盤作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した旋削作業法を身につけている。 【思】旋盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、旋削作業についての確に表現できる技量を身につけている。 【態】旋盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、旋削作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	60
2 学 期	溶接・ガス切断 【知】溶接作業の基本操作についての正しい知識を持ち、溶接作業法を理解できるようにする。 【思】溶接作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての確に表現できる技量を身につけさせる。 【態】溶接作業の基本操作について興味・関心を持ち、溶接作業に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	・溶接の原理 ・身近な製品との関連・観察 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践	【知】溶接作業の基本操作についての正しい知識を持ち、溶接作業法をよく理解している。 【思】溶接作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての確に表現できる技量を身につけている。 【態】溶接作業の基本操作について興味・関心を持ち、溶接作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	68
3 学 期	手仕上げ 【知】手仕上げ作業の基本作業についての正しい知識を持ち、手仕上げ作業法を理解させる。 手仕上げ作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した手仕上げ作業法を身につけさせる。 【思】手仕上げ作業の基本操作について、適切に思考・判断し、手仕上げ作業についての確に表現できる技量を身につけさせる。 【態】手仕上げ作業の基本操作について興味・関心を持ち、手仕上げ作業に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	・やすりの使い方 ・ボール盤の操作方法 ・ボール盤の操作法を使った作業 ・塗装	【知】手仕上げ作業の基本操作についての正しい知識を持ち、手仕上げ作業法をよく理解している。 【思】手仕上げ作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての確に表現できる技量を身につけている。 【態】手仕上げ作業の基本操作について興味・関心を持ち、手仕上げ作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	28
							合計
							156

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教 科： 工業 科 目： 工業技術基礎 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 総合技術科（電気類型）

教科担当者：

使用教科書：（ 工業技術基礎、学校配布の実習プリント ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
電気の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	電気の各分野に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	電気の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○電気工事 【知】電気工事の学習を通して、基礎的・基本的な屋内配線工事の知識を確実に身につけさせ、家庭の屋内配線の仕組みを理解している。 単線図・複線図を描き、屋内配線用の材料や工具を安全に使用して簡単な屋内配線工事ができるよう技能を身につけさせる。 【思】電気工事の学習を通して、自ら単線図から複線図を描き、回路図通りの配置や配線方法を思考・判断し、正しく回路を組み、効率よく工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。 【態】電気工事の学習を通して、基礎的・基本的な屋内配線工事の知識を確実に身につけさせ、家庭の屋内配線の仕組みを理解している。電気工事の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけさせる。	・基本的な屋内配線工事の知識 ・単線図から複線図への描き方 ・安全作業、報連相の実践 ・組立工程の工夫 ・作品の完成	【知】電気工事の学習を通して基礎的・基本的な屋内配線工事の知識を確実に身につけさせ、家庭の屋内配線の仕組みを理解している。 屋内配線用の材料や工具を安全に使用して簡単な屋内配線工事ができるよう技能を身につけさせる。 【思】電気工事の学習を通して、自ら単線図から複線図を描き、回路図通りの配置や配線方法を思考・判断し、正しく回路を組み、効率よく工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。 【態】電気工事の学習を通して、基礎的・基本的な屋内配線工事の知識を確実に身につけさせ、家庭の屋内配線の仕組みを理解している。電気工事の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけさせる。	○	○	○	60
2 学 期	○テスターの製作実習 【知】抵抗のカラーコードについて理解し、カラーコード表を利用して抵抗の抵抗値を求めることができる。生産活動における社会的意義や役割を理解している。 半田付け作業を行う上で、工具の取り扱いや安全に作業できるようできるよう、技能を身につけさせる。 【態】テスター製作を通して、正しく使用できる技能を身につけさせ、基礎的な電圧、電流、抵抗値の測定が正しく測定できるよう、知識・技能を身につけさせる。また、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全に作業できるよう、知能・技能を身につけさせる。測定データを分かりやすくまとめ、思考・判断し、創意工夫される能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。	・抵抗のカラーコード ・半田付けの練習 ・テスターの製作 ・テスターの校正	【知】抵抗のカラーコードについて理解し、カラーコード表を利用して抵抗の抵抗値を求めることができる。生産活動における社会的意義や役割を理解している。 半田付け作業を行う上で、工具の取り扱いや安全に作業できるようできるよう、技能を身につけさせる。 【態】テスター製作を通して、正しく使用できる技能を身につけさせ、基礎的な電圧、電流、抵抗値の測定が正しく測定できるよう、知識・技能を身につけさせる。また、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全に作業できるよう、知能・技能を身につけさせる。測定データを分かりやすくまとめ、思考・判断し、創意工夫される能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。	○	○	○	68

3 学 期	○コンピュータ実習 【知】マイクロソフトのアプリケーションソフトの利用を通して、基礎的な文章を作成し編集する知識を身につけさせ、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全にデータの管理ができるよう、技能を身につけさせる。 【態】マイクロソフトのアプリケーションソフトの利用を通して、基礎的な文章を作成し編集する知識を身につけさせ、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全にデータの管理ができるよう、技能を身につけさせる。文章が見やすいよう思考・判断し、創意工夫される能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。	・キーボード操作の習得 ・基本的な文章を作成し、編集できる。 ・安全にデータの管理ができる。	○コンピュータ実習 【知】マイクロソフトのアプリケーションソフトの利用を通して、基礎的な文章を作成し編集する知識を身につけさせ、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全にデータの管理ができるよう、技能を身につけさせる。 【態】マイクロソフトのアプリケーションソフトの利用を通して、基礎的な文章を作成し編集する知識を身につけさせ、生産活動における社会的意義や役割を理解している。 安全にデータの管理ができるよう、技能を身につけさせる。文章が見やすいよう思考・判断し、創意工夫される能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。	○	○	○	28
							合計
							156

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教 科： 工業 科 目： 工業技術基礎 単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 総合技術科（電子類型）

教科担当者：

使用教科書：（ 工業技術基礎、学校配布の実習プリント ）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
電子の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	電子の各分野に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	電子の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	○電気計測 【知】 直流・交流回路の実験を通して、基礎的・基本的な電気に関する知識を習得させ、生産活動における電気回路の社会的意義や役割を理解させる。 電気の安全に配慮して電気実験を計画し、適切に実施する技能を身につけさせる。 【思】直流・交流回路の実験を通して、部品の正しい接続方法を思考・判断し、効率よい実験工程を創意工夫する能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現させるようにする。 【態】直流・交流回路の実験を通して、電気に関する基礎的・基本的な技術に興味・関心を持たせ、意欲的に実験に取り組み、主体的に電気実験を実践する態度を身につけさせる。	・基本的電気回路の知識 ・結線・配線 ・計器の取扱い ・データの整理 ・安全作業、報連相の実践	【知】 直流・交流回路の実験を通して、基礎的・基本的な電気に関する知識を習得し、生産活動における電気回路の社会的意義や役割を理解している。 電気の安全に配慮して電気実験を合理的に計画し、適切に実施する技能を身につけている。 【思】直流・交流回路の実験を通して、部品の望ましい接続方法を思考・判断し、効率よい実験工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。 【態】直流・交流回路の実験を通して、電気に関する基礎的・基本的な技術に興味・関心を持ち、意欲的に実験に取り組み、主体的に電気実験を実践する態度を身につけている。	○	○	○	60
2 学 期	○電子工作 【知】 プリント配線の学習を通して、基礎的・基本的な基板製作の知識を確実に身につけさせ、生産活動におけるプリント配線の重要性と社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に与える影響に配慮しつつ、基礎的・基本的なプリント配線を合理的に計画し、適切に処理する技能を身につけさせる。 【思】プリント配線の学習を通して、みずから各部品の望ましい配置や配線方法を思考・判断し、効率的な回路や組立工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。 【態】プリント配線の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけさせる。	・基本的な基板作成の知識 ・適切なプリント配線計画 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践 ・組立工程の工夫 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践	【知】 プリント配線の学習を通して、基礎的・基本的な基板製作の知識を確実に身につけ、生産活動におけるプリント配線の重要性と社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に与える影響に配慮しつつ、基礎的・基本的なプリント配線を合理的に計画し、適切に処理する技能を身につけている。 【思】プリント配線の学習を通して、みずから各部品の望ましい配置や配線方法を思考・判断し、効率的な回路や組立工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。 【態】プリント配線の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけている。	○	○	○	68

3 学 期	○電子情報 【知】コンピュータ制御回路の製作を通して、基礎的な電子回路に関する知識を身につけさせ、生産活動における制御回路の果たす社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に配慮し、製作工程を合理的に計画し、的確に実践する技能を身につけさせる。 【思】基礎的・基本的なコンピュータ制御回路の製作を通して、各回路における部品の機能を思考・判断し、効率よい制御回路を創意工夫する能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。 【態】コンピュータ制御回路の製作を通して、制御に関する基礎的・基本的な技術に関心を持ち、ものづくりに意欲的に取り組むとともに、安全で合理的な製作を実践する態度を身につけさせる。	・プログラミングの基礎的な操作の習得 ・基本的なプログラミングの組み方 ・命令の理解 ・マイコンを使用した信号制御 ・マイコン制御の原理 ・制御回路の工夫 ・製作品	【知】コンピュータ制御回路の製作を通して、基礎的な電子回路に関する知識を身につけ、生産活動における制御回路の果たす社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に配慮し、製作工程を合理的に計画し、的確に実践する技能を身につけている。 【思】基礎的・基本的なコンピュータ制御回路の製作を通して、各回路における部品の機能を思考・判断し、効率よい制御回路を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。 【態】コンピュータ制御回路の製作を通して、制御に関する基礎的・基本的な技術に関心を持ち、ものづくりに意欲的に取り組むとともに、安全で合理的な製作を実践する態度を身につけている。	○	○	○	28
							合計
							156

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

工業 科目 工業情報数理

教 科： 工業

科 目： 工業情報数理

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（

）

教科 工業情報数理

の目標：

【知 識 及 び 技 能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業情報数理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○工業情報数理を学ぶにあたって ○産業社会と情報技術 1 情報と生活 2 情報化社会の光と影 3 コンピュータの特徴 4 情報化の進展と産業社会 5 情報化社会のモラルと管理 6 情報セキュリティの管理 7 問題の発見・解決と情報技術の活用	・情報やデータの意味、情報化社会の利点や問題点について理解させる。 ・情報・情報処理・データ・ICTなどの用語の意味を正確に理解させる。 ・情報化社会の発展が産業社会や個人の生活に及ぼす影響について、その光と影の部分を正しく理解させ、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活用ができるようにする。	【知】・情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現する知識と技能を身に付けている。 ・情報機器やSNSなどの利点や欠点、危険性、正しい取り扱いについて理解し、自分たちがすべきことについてまとめることができる。 【思】・情報技術の進展にともない産業社会におよぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 ・情報機器やSNSなどのサービスを取り扱ううえでの社会人としてのルール、モラルやマナーなどについて、具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできる。 【態】・情報化社会について、技術的な側面に加えて、人的な側面にも関心をもち、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活用をしようとする意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	10
	○コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 コンピュータの基本操作 2 ソフトウェアの基礎	・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解させ、実際に使えるようにする。	【知】・FA・OAなどの用語について理解している。 【思】・実際に簡単な計算処理をして、コンピュータと人間の処理を比較して思考・判断でき、意見を述べたり発表したりできる。 【態】・コンピュータの特徴とコンピュータを用いることの意味に関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	10
	○プログラミングの基礎 1 プログラムの基礎 2 プログラムの作り方 3 流れ図とアルゴリズム	・データの出力、データの入力、関数の計算について理解させる。 ・選択処理について理解させる。	【知】・機械語、アセンブリ言語、高水準言語について理解している。 【思】・インタプリタとコンパイラの違いを考察し発表できる。 【態】・人の会話を言語が必要であるように、コンピュータへの命令に言語が必要であることに興味をもち、意欲的に学習できる。	○	○	○	10
2 学 期	○BASICによるプログラミング 1 BASICの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰り返し処理 5 配列処理 6 外部関数	・BASIC言語について正しく理解させる ・BASIC言語での四則計算プログラム選択処理、繰り返し処理、配列処理、外部関数について正しく理解させ、実際に使えるようにする。	【知】・BASIC言語の概要について理解している。 ・BASIC言語に必要な要素について理解している。 ・BASIC言語に必要な電子回路について理解している。 ・BASIC言語に必要なプログラムについて理解している。 ・BASIC言語の特徴を理解して、機器を操作する技能を習得している。 【思】・BASIC言語によってどのような制御を行っているか考察し発表できる。 ・機器に適したBASIC言語での制御の方法を判断し説明できる。 【態】・身のまわりのBASIC言語の制御や、具体的な方法に関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	12
	○Cによるプログラミング 1 Cの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰り返し処理 5 配列処理 6 関数	・C言語について正しく理解させる ・C言語での四則計算プログラム選択処理、繰り返し処理、配列処理、外部関数について正しく理解させ、実際に使えるようにする。	【知】・C言語の概要について理解している。 ・C言語に必要な要素について理解している。 ・C言語に必要な電子回路について理解している。 ・C言語に必要なプログラムについて理解している。 ・C言語の特徴を理解して、機器を操作する技能を習得している。 【思】・C言語によってどのような制御を行っているか考察し発表できる。 ・機器に適したC言語での制御の方法を判断し説明できる。 【態】・身のまわりのC言語の制御や、具体的な方法に関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	12
	○ハードウェア 1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・文字・音・静止画像・動画像のデジタル化を理解させる。 ・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解させる。	【知】・コンピュータ制御の概要について理解している。 ・コンピュータ制御に必要な要素について理解している。 ・コンピュータ制御に必要な電子回路について理解している。 ・コンピュータ制御に必要なプログラムについて理解している。 ・コンピュータ制御に適した制御方法を用いるコンピュータ制御の特徴を理解して、機器を操作する技能を習得している。 【思】・身のまわりの機器がコンピュータ制御されていることを知り、どのような制御を行っているか考察し発表できる。 ・身のまわりの機器に組み込まれているコンピュータを指摘し特徴を考察し発表できる。 ・機器に適したコンピュータ制御の方法を判断し説明できる。 【態】・身のまわりのコンピュータ制御や、コンピュータ制御の具体的な方法に関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	○情報技術の活用と問題の発見・解決 1 マルチメディア 2 プレゼンテーション 3 文書の電子化 4 問題の発見・解決	・文字・音・静止画像・動画像のデジタル化を理解させる。 ・プレゼンテーション用のアプリケーションソフトウェアについて理解させ、実際に使えるようにする。 ・文章の電子化の方法について正しく理解させ、実際に使えるようにする。 ・情報技術の活用の仕方や、問題点、危険性などを正しく理解させ、自身で対応出来る能力を身につける。	【知】・情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現する知識と技能を身に付けている。 ・情報機器やSNSなどの利点や欠点、危険性、正しい取り扱いについて理解し、自分たちがすべきことについてまとめることができる。 【思】・情報技術の進展にともない産業社会におよぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 ・情報機器やSNSなどのサービスを取り扱ううえでの社会人としてのルール、モラルやマナーなどについて、具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできる。 【態】・情報化社会について、技術的な側面に加えて、人的な側面にも関心をもち、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活用をしようとする意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。	○	○	○	12
							合計
							78

本所工科 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教 科： 人間と社会 科 目： 人間と社会 単位数： ポイントリザーブ

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京都教育委員会著作準教科書「人間と社会」・担当教員作成のプリント、ワークシート ）

教科 人間と社会 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、課題に向けて実用な知識及び技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的現実にもとらされ、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、お互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己と実生活や実社会との関わりから新しい課題を自ら見いだしたり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることや、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりするなどの技能を身に付ける。	他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えが深まる。このことによって課題発見、課題解決の力を身に付けさせる。	集団活動の中で、人間としての在り方生き方に対する自覚を深めるとともに、社会の中で自己のよさや可能性を生かす力、前向きに自己の将来を設計する態度を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	○「人間と社会」を考える。 【知】「人間と社会」の学ぶ目的を理解させる。 【思】「人間と社会」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身に付けさせる。 【態】「人間と社会」で学ぶ目的を理解し、主体的に行動する態度を育成する。	・「人間と社会」の学習を通して、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	【知】「人間と社会」の学ぶ目的をよく理解している。 【思】「人間と社会」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身に付けている。 【態】「人間と社会」で学ぶ目的を理解し、主体的に行動する態度を身に付けている。	○	○	○	1
	○学習の視点を考える。 【知】「何を大切にして、どのように生きるか」について、自分なりの判断基準を見直すことができる。 【思】他者との関わりを通して自己の判断基準を高めることができる。 【態】判断基準に従って行動ができる。	・「大切にしたいこと」について考える活動を通して、自分自身や他者を理解しようとする態度を養う。	【知】「何を大切にして、どのように生きるか」について、自分なりの判断基準を見直すことができる。 【思】他者との関わりを通して自己の判断基準を高めることができる。 【態】判断基準に従って行動ができる。	○	○	○	1
	○地域社会を築く① 【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できる。 【態】主体的に地域社会に参画する能力を育成する。	・地域社会の一員であることを自覚し、社会連帯、公正に対する自己の考えを深め、主体的に地域社会に参画する能力を育成する。	【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できている。 【態】主体的に地域社会に参画する能力が育成できている。	○	○	○	1
2 学 期	○「葛飾区産業フェア」への準備 【知】参加に必要なものがなんであるかを理解している。来場者への指導内容を理解している。 【思】効果的に来場者に対し製作手順を説明できる。 【態】参加に必要なものを他者と協力してそろえることができる。	・「葛飾区産業フェア」へ参加するのに必要な準備を行う。	【知】参加に必要なものがなんであるかを理解していた。来場者への指導内容を理解していた。 【思】効果的に来場者に対し製作手順を説明できている。 【態】参加に必要なものを他者と協力してそろえることができる。	○	○	○	1
	○「葛飾区産業フェア」参観 【知】来場者への指導内容を理解している。 【思】来場者が理解し、手際よく製作ができるよう説明ができる。 【態】来場者に対し、率先して対応する態度を養う。	・葛飾区産業フェアに参加し、自校の展示ブースの案内、製作体験指導や会場整理等を行う。	【知】来場者への指導内容を理解していた。 【思】来場者が理解し、手際よく製作ができるよう説明ができている。 【態】来場者に対し、率先して対応している。	○	○	○	6
	○「葛飾区産業フェア」参加後の指導 【知】参加して課題が何かを理解している。 【思】他者と協力して課題解決のための提案ができる。 【態】課題解決のための工夫ができる。	・地域社会を知り、課題対応力を育成する。	【知】参加して課題が何かを理解していた。 【思】他者と協力して課題解決のための提案ができている。 【態】課題解決のための工夫ができている。	○	○	○	1
	○救急救命活動の基礎を学ぶ 【知】救急救命の基本について理解している。 【思】効率よく救急救急ができるか考えることができる。 【態】救急救命を率先して行える態度を養う。	・救急救命活動の基本を学ぶ	【知】救急救命の基本について理解していた。 【思】効率よく救急救急ができるか考えることができる。 【態】救急救命を率先して行える。	○	○	○	2

	○地域社会を築く② 【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できる。 【態】主体的に地域社会に参画する能力を育成する。	・地域社会の一員であることを自覚し、社会連帯、公正に対する自己の考えを深め、主体的に地域社会に参画する能力を育成する。	【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できている。 【態】主体的に地域社会に参画する能力が育成できている。	○	○	○	1
	○地域清掃 【知】ごみの分別について理解をしている。 【思】どのように清掃活動を行えば効率よく行えるかを考えることができる。 【態】率先して清掃活動を行う態度を育成する。	・地域の清掃活動を行う活動を通して公共の精神の自己の考えを深める。	【知】ごみの分別について理解をしていた。 【思】どのように清掃活動を行えば効率よく行えるかを考えることができている。 【態】率先して清掃活動を行う態度を育成できている。	○	○	○	2
3 学 期	○学ぶことの意義 【知】学びについて身近な視点から考えることができる。 【思】話合いを通して、「自律、忍耐」に対する自己の考えを深めることができる。 【態】主体的に学び続けようとする態度を育成する。	・学ぶことの意義を考え、自覚し、自律、忍耐に対する自己の考えを深め、人生を通じて主体的に学び続けようとする能力を育成する。	【知】学びについて身近な視点から考えることができている。 【思】話合いを通して、「自律、忍耐」に対する自己の考えを深めることができている。 【態】主体的に学び続けようとする態度を育成できている。	○	○	○	1
							合計
							17